

樹の木Ⅱ 開き戸

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 開き戸は人が出入りするのためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入りポリエチレン樹脂でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分ご注意ください。
 - ・平らな場所に保管してください。(立てかけて置かないでください)
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。

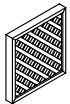
<施工上のご注意>

⚠ 注意



- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って（平行）行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等をしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■梱包明細表

1 開き戸セット

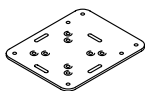
名称	略 図	員 数
開き戸本体		1

2 戸当り吊元柱セット

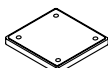

名称	略 図	員 数
戸当り吊元柱		2
柱スリーブC		2
フェンス取付アングル		4
キャッチ錠本体セット		1
キャッチアーム		1
ヒンジ		2
ヒンジ固定ボルトキャップ		4
ヒンジキャップ		2
調整金具セット		2

名称	略 図	員 数
2-① φ4×35サラタッピン ネジ2種 D=8 G=5		8
2-② φ5×40サラ特殊ネジ		8
2-③ φ4×19サラピアスネジ		12
2-④ φ5×70トラスタッピン ネジ3種		16
2-⑤ M5六角ナット		8
2-⑥ M5平座金		8
2-⑦ M5バネ座金		8
シャフト用ワッシャー		2
2-⑧ φ4×35ナベピアスネジ		12
2-⑨ φ4×32ナベ特殊ネジ		4
2-⑩ M8×15フランジ付 六角ボルト		4
取付説明書	—	1

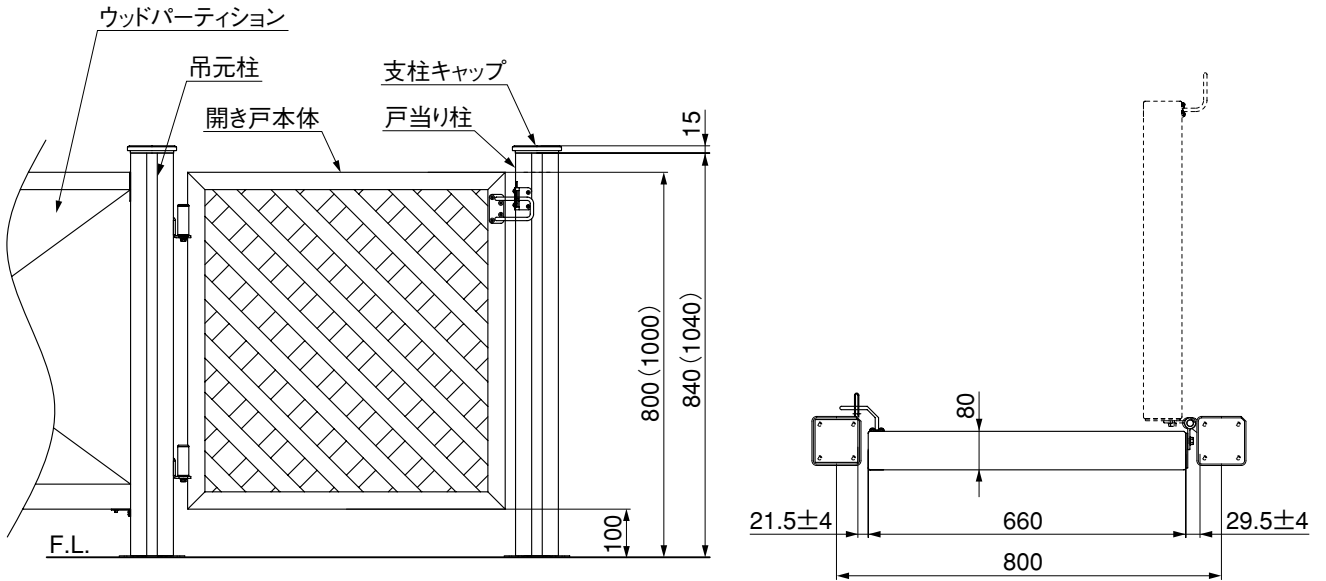
3 ベースプレートセット

名称	略 図	員 数
ベースプレートA		1

4 柱キャップセット

名称	略 図	員 数
柱キャップC		2
4-① φ3.8×32サラ特殊ネジ		4

1. 基本寸法と各部の名称



ポイント

- 吊元柱には、必ずウッドパーティションを連結してください。

補足

- 図はH08の場合を示し、()はH10の場合を示します。
- 上面図は右勝手内開きの場合を示します。

2. 戸当り吊元柱の準備

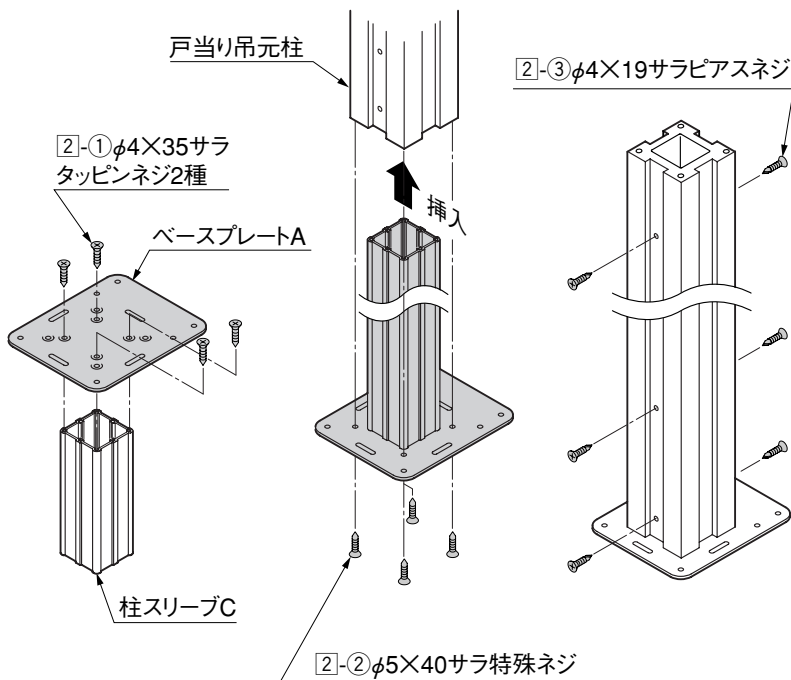


図2-1

図2-2

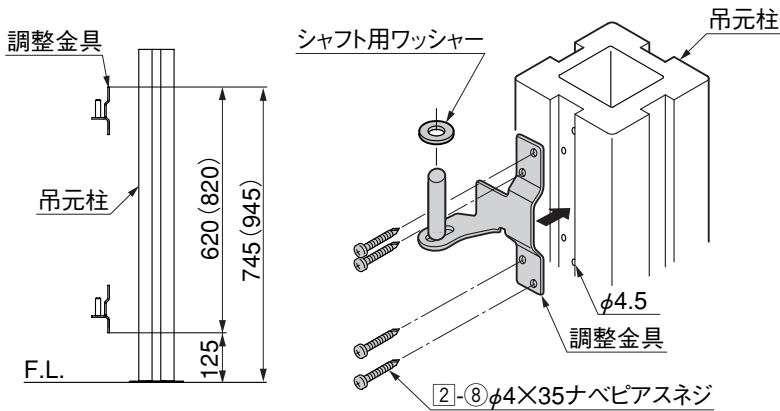
図2-3

補足

- 柱には上下の区別があります。
 - 戸当り柱と吊元柱には区別はありません。
- 1 ベースプレートAと柱スリーブCを、**2-1**で4ヶ所固定してください。(図2-1参照)
 - 2 支柱の下側から、ベースプレートAを組付けた柱スリーブCを挿入してください。(図2-2参照)
 - 3 ベースプレートAの裏側から、**2-2**で支柱とベースプレートAを4ヶ所固定してください。(図2-2参照)
 - 4 支柱の孔位置から**2-3**で、支柱と柱スリーブCを6ヶ所固定してください。(図2-3参照)

4. 調整金具の取付け ※図はH08の場合を示し、()はH10の場合を示します。

4-1 右勝手内開き仕様・左勝手外開き仕様の場合

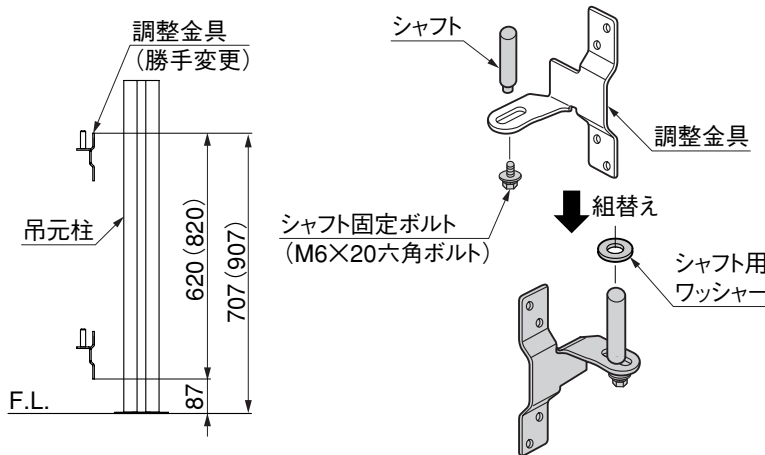


- ① 調整金具を吊元柱の取付け位置にあてて、ネジ位置にφ4.5の下孔を樹脂部のみにあけてください。
- ② 調整金具を②-⑧で取付けてください。

ポイント

- 調整金具は正確な位置に取付けてください。位置がずれていると開閉に支障が出る場合があります。

4-2 右勝手外開き仕様・左勝手内開き仕様の場合



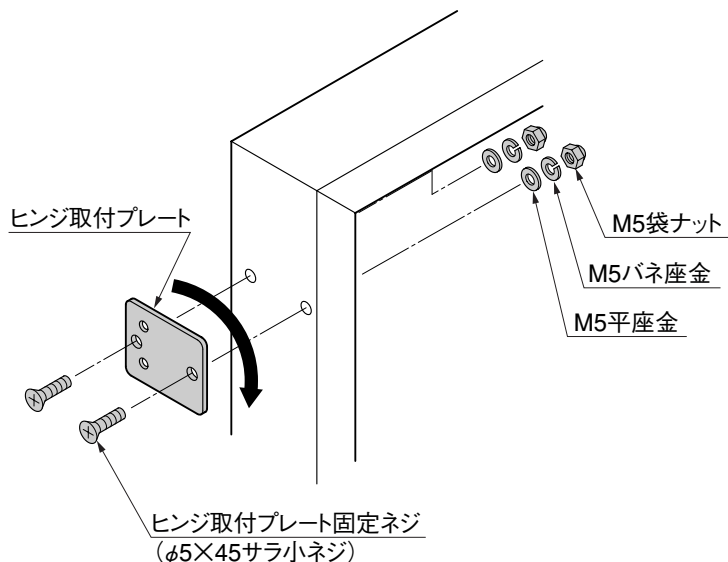
- ① 調整金具のシャフト固定ボルトをゆるめて、シャフトを取外してください。
- ② 調整金具を反転し、再度シャフトを取付けてください。
- ③ 調整金具を吊元柱の取付け位置にあてて、ネジ位置にφ4.5の下孔を樹脂部のみにあけてください。
- ④ 調整金具を②-⑧で取付けてください。

ポイント

- 調整金具は正確な位置に取付けてください。位置がずれていると開閉に支障が出る場合があります。

5. ヒンジの取付け ※右勝手外開き仕様・左勝手内開き仕様の場合の作業です。

5-1 ヒンジ取付プレートの組替え



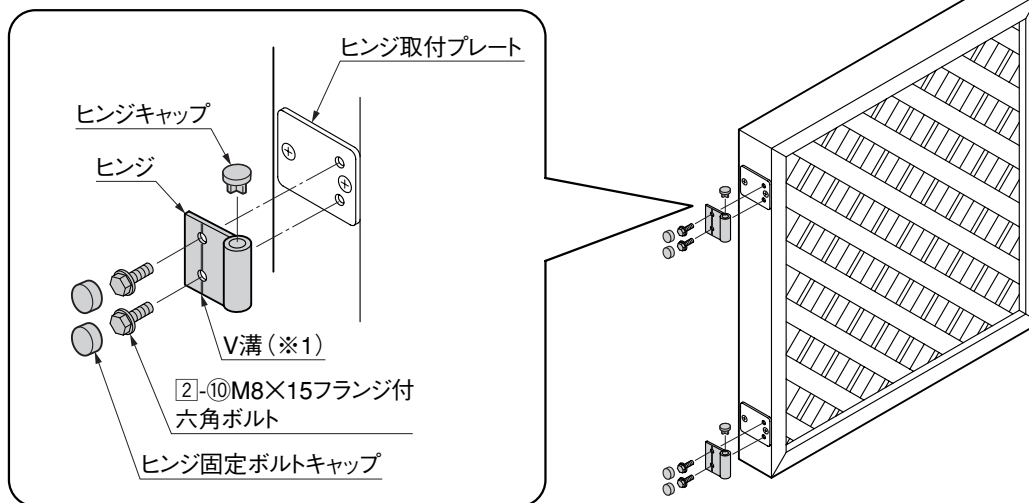
- ① 「ヒンジ取付プレート固定ネジ」を外してください。
- ② ヒンジ取付プレートを180°回転した向きで再び固定してください。

ポイント

- ヒンジ取付プレート固定ネジは確実に締込んでください。

5. つづき

5-2 ヒンジの取付け



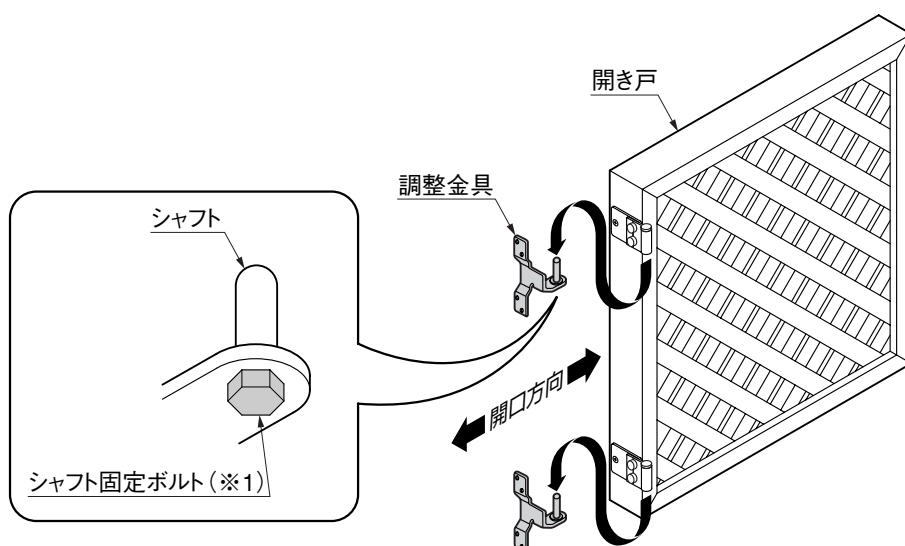
- 1 ヒンジ取付プレートに2-10でヒンジを取付けてください。

ポイント

- ヒンジはV溝面(※1)が表になるように固定してください。

- 2 ヒンジキャップ、ヒンジ固定ボルトキャップを取付けてください。

6. 開き戸の吊込みおよび各部の調整

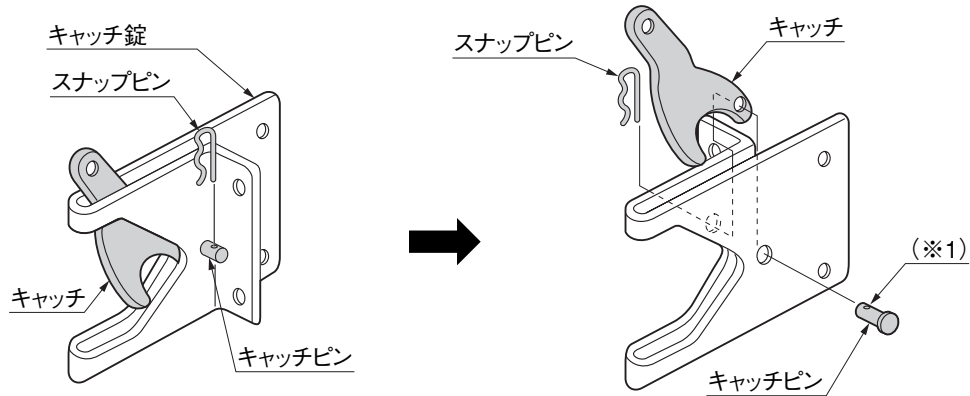


- 1 開き戸ヒンジ部に調整金具のシャフトを挿入し、扉を吊元柱に吊込んでください。

ポイント

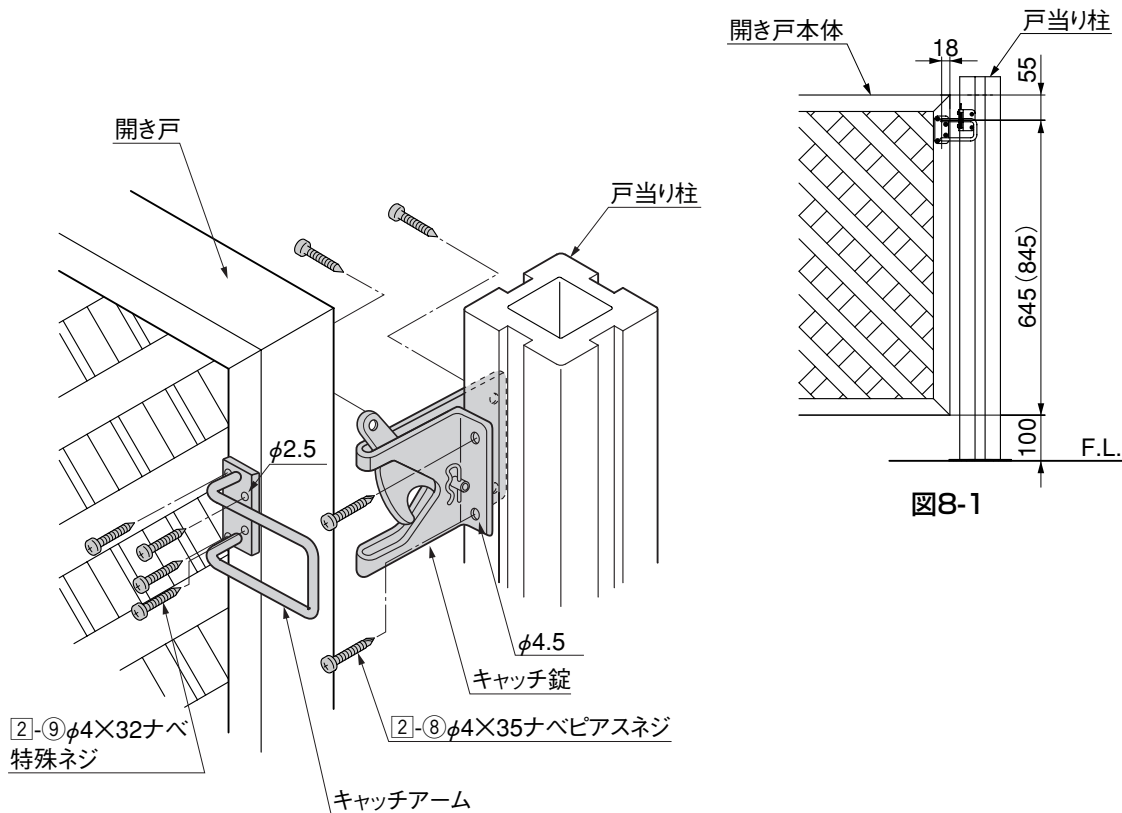
- 開口方向の調整は、シャフト固定ボルト(※1)をゆるめてシャフト位置を移動して行ってください。
- 開口方向の調整範囲は±4mmです。

7. 錠セットの勝手変更



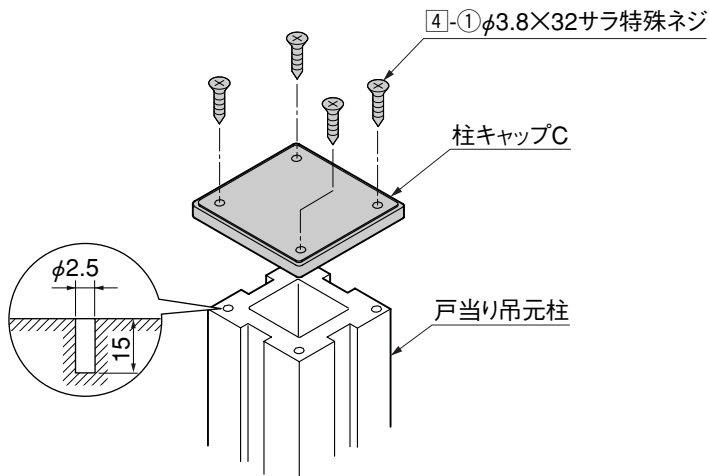
- ① 「キャッチ錠」の中心に挿入している「キャッチピン」抜け止め用の「スナップピン」を抜いてください。
- ② 「キャッチピン」を抜きとり、「キャッチ」を外してください。
- ③ 「キャッチ錠」を左右反転してください。
- ④ 「キャッチ」を挿入し、「キャッチピン」を「キャッチ錠」のフラットな面から挿入してください。
- ⑤ 「キャッチピン」先端側の穴(※1)に「スナップピン」を挿入してください。

8. 錠セットの取付け ※図はH08の場合を示し、()はH10の場合を示します。



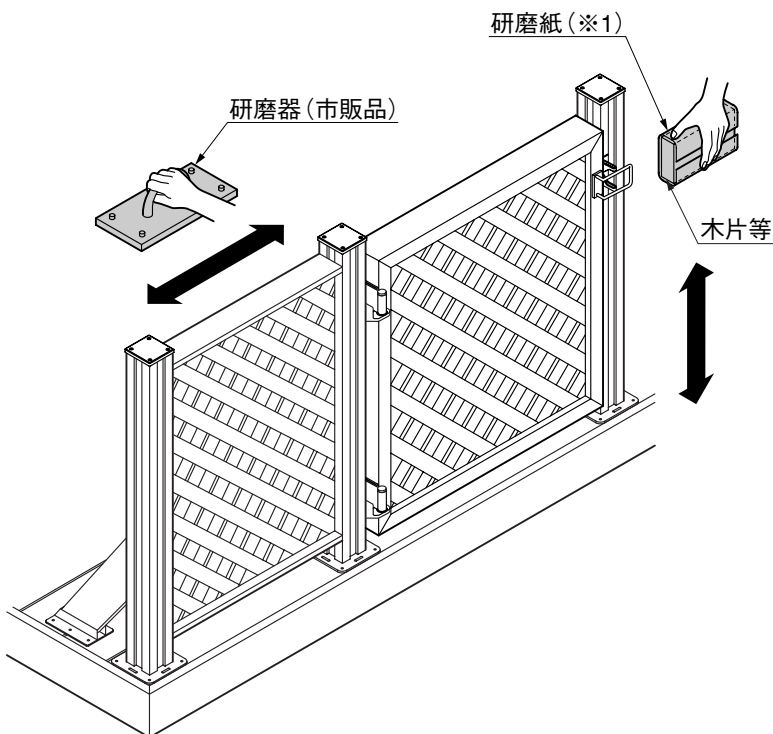
- ① キャッチアームを開き戸取付位置にあてて、φ2.5の下孔をあけてください。
- ② キャッチアームを②-⑨で取付けてください。
- ③ キャッチ錠を戸当り柱の取付位置にあてて、φ4.5の下孔を樹脂部のみにあけてください。
- ④ キャッチ錠を②-⑧で取付けてください。

9. 柱キャップの取付け



- ① 柱キャップCを柱上部にあてて、キャップ組付孔より柱上面に深さ15mmのφ2.5下孔をあけてください。
- ② 4-①でキャップを固定してください。

10. 施工後の仕上げ



ポイント

- 施工後、表面に付いたすりキズは樹の木Ⅱデッキ、ウッドパーティション等に同梱している研磨紙で補修してください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)
- 部材の研磨方向に沿って擦ってください。
- 製品お引き渡しの際は、お客様に研磨紙による補修方法について説明をしてください。

補足

- 市販の研磨器等(研磨紙を取付ける器具)を使用するときれいに仕上げることができます。
- 市販の研磨紙を利用する際は、80番の研磨紙を使ってください。

取説コード

T003

200502A_1003
200509B_1003